

## 2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 2 月 6 日作成)

|                              |  |   |
|------------------------------|--|---|
| 小委員会名                        | 地盤震動小委員会   | 主 査 名：上林宏敏<br>就任年月：2019 年 4 月   |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 構造委員会<br>(振動運営委員会)   | 委員長名：塩原 等<br>主 査 名：長島一郎   |
| 設 置 期 間                      | 2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月  |   |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | 震源～表層地盤の震動特性に関する研究の推進と関連情報の収集等と成果公表<br>初年度：直近10年間を鑑みた新たな課題の収集・整理・分析とその成果の公表<br>動探査手法及び巨大地震に対する強震動予測手法の適用性に関する研究<br>2年度：上記に関する研究・情報収集の推進と出版（地盤震動）に向けての作業<br>3年度：上記研究・情報収集の継続と出版作業（情報整理・執筆）<br>4年度：次期活動に向けての課題整理と出版作業（レビュー等） |   |
| 委員構成<br>(委員名(所属))            | 委員公募の有無：有<br>主査：上林宏敏(京都大学)<br>幹事：佐藤智美(清水建設)、高井伸雄(北海道大学)、元木健太郎(小堀鐸二研究所)<br>委員：大野晋(東北大学)、大堀道広(福井大学)、川辺秀憲(大阪大学)、神野達夫(九州大学)、浅野公之(京都大学)、高橋広人(名城大学)、松島信一(京都大学)、三浦弘之(広島大学)、吉田邦一(地域地盤環境研究所)  |   |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           | 地盤構造評価WG：地下構造モデル作成に用いる地盤探査手法のパフォーマンスの評価。<br>強震動予測WG：日本近海のトラフ沿いの巨大地震に対する強震動予測の課題を整理・分析。   |   |
| 2019年度予算                     | 600,000 円  | ホームページ公開の有無：有<br>委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s4/">http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s4/</a> |

| 項 目  | 自己評価  |
|--|---|
| 委員会開催数                                     | 5 回（年度内計画を含む）   |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は除く)                      |   |
| 講習会  |   |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー等)<br>* 能力開発支援事業委員会承認企画 | 1. 第39回地盤震動地域交流会(2019) 参加者数 64名<br>2. 第47回地盤震動シンポジウム「強震動予測研究と設計用入力地震動 —この10年間を振り返る」 参加者数 166名<br>『同名資料』 |
| 大会研究集会                                     |   |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等                         |   |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得られた成果との関係)             | 1. 地盤震動シンポジウム、地域交流会の開催等の活動を通じ、地盤震動研究の普及に貢献。<br>2. WG の検討結果の一部を年次大会で発表。                                  |
| 委員会活動の問題点・課題                               | 1. 刊行物販売の持続的な促進<br>2. 他の小委員会との意見交換と連携強化<br>3. 大会における委員会担当発表課題及び若手優秀発表賞に対する委員への負担軽減                      |